

山根真治郎

（しやうねい）

新聞人。

明治十七年九月二十日山口縣生れ、昭和

二十七年七月十日没（一八四一—一九五二）。

號秋伴、

秋伴生。

明治四十年中

中央大學卒。

時事新報社記者、中央新聞社社會部長を経て國民新聞社入

社。社會部記者のら社會部長、次に編輯局長となり、社長徳富蘇峰の

信任厚く、新聞界の中心重きを爲した。同社解體後は『新愛知』に移り、

『中部白木』に改題後はまた社顧問、晩年『徳島新聞』顧問となつた。

この間新聞學院の経営、新聞の第一人者として畫壇を受けた記者は数

くおもしろだ。

著書『日本花柳史』（山根秋伴名、大正二年十一月二十九日山陽堂）、

『情齋』（山根秋伴名、編田夕咲・田村西男・伊藤みはる・草野守人

・本村の家への合著小説集、大正六年七月一日國粹社「編輯叢書」）、

『新聞紙法制』（昭和四年十月二十一日東京出版社）、『戦報とマシンの責任』

（昭和十二年十一月五日新聞學院）等。